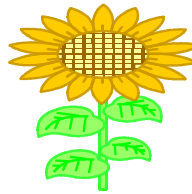


ふれあい



TEL 52-0040

ホームページ <http://www.fujinomiya-shizuoka.ed.jp/e-school/14hitoana/>

学校教育目標 『自らをきたえ 共に生きる子』

自分から「関わり合い」を考えよう

窪田 智

33日間の夏休みが終わり、2学期がスタートしました。コロナ感染症感染者数が高止まりする中、8月25日の始業式には、全校児童15名の元気な顔が見られ、とてもうれしかったです。式の中では、3名の子が夏休みの思い出や2学期の目標について話をしました。発表する子はもちろんですが、話を聞いている子供たちの姿も素晴らしかったです。本校が重点としている「関わり合い」の基本が身に付いてきていると感じます。

ここから先は、始業式で、私が子供たちに話したことです。

新学期のスタートなので、本校の学校教育目標と重点目標について確認をしました。学校教育目標「自らをきたえ 共に生きる子」については少し自信なげの表情でしたが、重点目標「自ら学ぶ子 自ら関わる子 共に育む子」は「うん、うん」とうなずいて聞いている子が多かったです。キーワードである「関わり合い」については、ほぼ全員が理解をしていました。そこで、今学期のキーワードを提示しました。「自分から」です。学校教育目標にも重点目標にも「自ら」が入っています。自分たちから「関わり合う場」を考えることを目指していきます。

学習を深めるため、学校生活をより楽しくするために、どんな人たち(場合によっては「もの」)と、どんな方法で関わっていききたいのか、関わっていけるのか考える2学期になるといいなと思います。

御家庭で子供たちが「こんなことしたいんだけど、どうしたらいいかな?」と相談に来たら、一緒に考えていただけると、家庭と学校とのつながりもより深まります。子供たちの学習意欲も向上し、継続して主体的な学習になると考えます。

もちろん、教職員も子供たちが「こんなことやってみたい!」「自分から関わりたい!」と思えるような授業や活動を工夫し、「自ら関わる力」の育成を目指します。

今学期は82日間と、1年間で最も長いですが、大きな行事がいくつも計画されています。学習面でもじっくりと取り組み、学びを深めることができます。自分たちのクラスにとどまらず、他学年との交流、他校との交流、地域(人・もの)との交流が、子供たちの思いや願いで実現できるよう、そして、子供たちも教職員も「明るく 楽しく 元気よく」学校生活を送れるよう、職員一丸となって全力で取り組んでいきます。

今学期も御理解と御協力をよろしくお願いいたします。



〈新型コロナウイルス感染防止に係る今後の学校の対応について〉

8月25日に、「新型コロナウイルス感染防止に係る今後の学校の対応について」というお便りを配付いたしました。なかなか終息に向かわないコロナウイルス感染症ですが、お便り裏面のフロー図と合わせて確認していただき、御対応をお願いいたします。

加えて、夏休み中もリーバ入力への御協力、ありがとうございました。